



■9月会山行荒沢岳集中■ 短時間で遡行できる只見の沢

## 越後荒沢岳 腰付沢遡行～ナラ沢下降

橋本

【日時】2006年9月3日(日)

【メンバー】中村(L)、佐藤、尾木原、橋本

仁さんが体調不調で参加できない場合は荒沢岳頂上を一般登山道で登って来るようにと言われた会山行唯一の夜行日帰りパーディーであった。その仁さんの体調が復帰し、何とか沢に取り付くことが出来た。

晴の予報とは違い朝から雲が立ち込め、小雨まで降ってきた。林道は腰付沢の出合いを過ぎ、少し桧枝岐方向行った所に丁度車を止めるのに最適なスペースを見つける。朝から体調がふるわなかった尾木原さんは遡行を断念し、ここで安静にする事となった。腰付沢は出会から水量も少なく、あまり期待できそうな沢ではないと言った印象ではあったが程なく適当な滝が続けて現れる。嫌らしい巻きも何度か出てきて、仁さんのリードでザイルを出してもらった。天気も急速に回復し振り向けば只見湖が美しく、快適な遡行となった。地形図で見てもあまり上まで遡行してしまうとナラ沢への下降が難しくなるようなので、1000m付近から尾根に向かう沢に入る。程なく水は涸れ、林道出合から丁度3時間で尾根に出た。ここまでは予定通りである。尾根には立派なブナの木に山菜採りの者が記したと思われるナタ目が入っており、尾根にも仕事道らしき跡も見られたが、計画通りナラ沢に向かって下降を開始した。石井さんからの無線では1時間もあれば降りられるとの事だったが、ここからが大変であった。急な涸れたルンゼを木の枝をつかみながら先頭の中村さんはスイスイと降りて行く。私は1箇所躊躇している間に握力の限界を感じ、一旦は枝に確保を取らなければならないような状況になってしまった。仁さんからザイルを受け取り、何とか降りる事が出来たが、予想以上に時間を使う事になった。結局、私のせいで林道まで下降するのに2時間45分を要したが、遡行開始時間が早かったせいもあって集合場所の白銀の湯でのんびり温泉と蕎麦に舌鼓することが出来た。とにかく私にとっては久々の沢登りで、難も有ったが充実した1日を過ごすことが出来た。パートナーの仁さん中村さんはもとより、機会を頂いた会山行運営に携ってこられた方々に感謝申し上げます。

【グレード】1級上

【行程】腰付沢林道出合(7:00)－1100m二俣(9:45)－1150m尾根ナラ(10:00)ナラ沢下降開始－ナラ沢林道出合(12:45)

【地図】奥只見湖

童人トマの風 <http://www.tomanokaze.dojin.com/>